



# なばり

2015年(平成27年) 6月14日発行

主な内容

- 3.....名張市プレミアム付商品券販売、男女共同参画週間
- 6.....特定健診・特定健診プラス、後期高齢者健診
- 7.....施設ガイド
- 8.....7月の相談、6月は環境月間

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

## 人口減少を克服する 地方創生



日本の人口減少は、今後加速度的に進むと予測されます。国は、人口減少を克服し、活力ある社会を維持するため、東京一極集中を是正し、それぞれの地方が潤いのある豊かな生活を営むことができる社会の形成などを旨とする「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。今号では、名張市の「地方創生」に向けた取組を説明します。

☎ 総合企画政策室 ☎ 63-7389

全国的な問題  
人口減少時代の到来

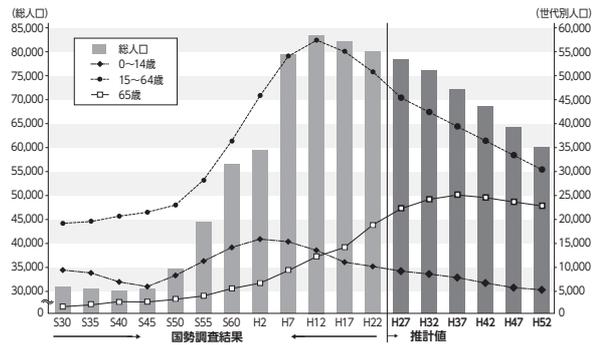
国立社会保障・人口問題研究所による本市の将来の人口推計では、平成52年に現在から25%減の約6万になり、65歳以上の人口割合は約4割を占めることになるとしています。

また、昨年、民間有識者でつくる「日本創成会議」は、全国の約半数の市町村が、将来的に消滅する恐れがあるとの推計を公表しました。

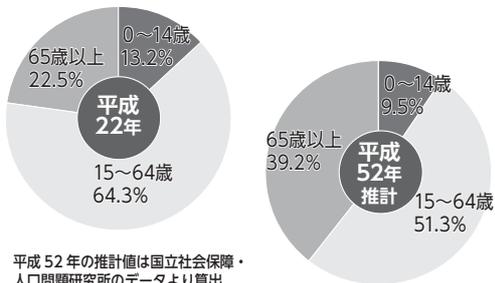
あくまでも推計値ではありますが、日本の人口減少は、今後加速度的に進むと予測されます。

人口が減少することは、消費・経済力が低下し、経済社会に対して大きな重荷になります。また、単身高齢者の増加や核家族化も進み、防災、福祉など地域を取り巻く課題もより複雑・多様化していくこととなります。

昭和30年～平成52年(25年後)名張市人口の推移



平成22年と平成52年(推計)の名張市の人口比率



平成52年の推計値は国立社会保障・人口問題研究所のデータより算出

活力ある社会を維持する  
キーワードは地方創生

人口減少の問題は、自治体によって状況や原因が異なります。本市の場合、大規模な住宅開発に伴い、同世代が同時に転入され人口が急増しました。増え続けた人口が減少に転じたことや同時に転入された世代が老年期に順次入ったことなどから、今後は急激に高齢化が進んでいきます。

このような人口動向や将来人口の推計を見据え、自治体の特性に応じた課題の解決が必要です。

国は、地方から東京圏への人口流出に歯止めを掛け、「東京一極集中」を是正するため「しごと創生」と「ひと創生」の好循環を確立し、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すことを目指した「地方創生」を本格的に始動させました。

国の方針を受け、本市では、「定住人口減少の抑制」と「交流人口拡大の促進」を目指し、地方創生に向けた取組を進めていきます。

### 地域の活力を創生するため、オール名張で取り組みます。



国は、抜本的な少子化対策を行い、若者の都市部への流出を食い止め、それぞれの地域で働き、子育てを行い、次代につないでいく重要性を示しました。まさに取組の主役は、地方であります。「まち・ひと・しごと創生法」の成立を追い風に、迫りくる人口減少や少子高齢化に立ち向かい地域の活力を創生するため、名張らしさを生かした魅力あるまちづくりが必要です。その前提にあるのが人づくりです。今後も市民が主役のまちづくりを進めながら、オール名張で取り組んでいきたいと思ひます。

名張市長 亀井 利克